

八幡平市商工会報

第68号（平成30年1月）

発行年月日 平成30年1月25日
編集・発行 八幡平市商工会
発行責任者 会長 高橋富一
〒028-7111
八幡平市大更 35-63-85
電話 0195-76-2040
FAX 0195-76-2145

新年のごあいさつ



八幡平市商工会
会長 高橋 富一

明けましておめでとうございます。皆様には、すこやかに新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

昨年中は、当商工会の事業活動に当たりまして、会員の皆様、八幡平市、岩手県商工会連合会をはじめ関係各位から格別のご指導、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、国内景気は一進一退で推移していると言われておりますが、実感のわく回復は見られない状況です。一方で、地方の中小企業や小規模事業者を取り巻く環境は、人口減少による市場の縮小、原材料費高騰、人手不足、後継者問題を抱え依然として厳しく、先行き不透明な状況が続いております。

こうした中、新しい年を迎えましたが、平成26年6月に制定された「小規模企業振興基本法」を契機に、小規模事業者持続化補助金をはじめとした使いやすい施策が生まれ、これまで補助金を受けたことのない小規模事業者が自身の経営力向上のために活用できるようになりましたことから、多くの会員企業が積極的に取り組んでいただきますようお願いするとともに、商工会としても経営計画作成から補助金の申請まで伴走型の支援を強化してまいり所存であります。

どうか、会員の皆様には、商工会を大いに利用され、事業経営にお役立てくださるとともに、商工会の活性化のためにも、ご忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いに存じます。

結びに、年頭に当たり、会員皆様のますますのご繁栄、そして、今年が良い年になるようご祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

市議会と商工会との懇談会を開催

市議会全議員と商工会役員との懇談会を12月14日、いこいの村岩手で行いました。

懇談会には、議会から古川津好議長、渡辺義光副議長はじめ19人の議員、商工会からは高橋会長、橋本副会長を含む15人の役員が出席しました。

懇談に先立ち、高橋会長から古川議長に平成30年度商工業振興に関する要望書を手渡し、内容の説明をしました。懇談では「人材育成、雇用対策を市全体で考えていかなければならない。小規模・中小企業振興条例をバックボーンにして市全体の産業を振興していく必要がある」など地域経済の活性化に関して活発な意見交換が行われました。

最後に古川議長は「これからの商工会の取り組みに期待している。八幡平市の産業振興を図るため市当局への働きかけをしっかりと行っていきたい」と懇談会を総括しました。



新春講演会、永年勤続優良従業員表彰式、 新年交賀会を開催

1月5日、新安比温泉静流閣において新春講演会、永年勤続優良従業員表彰式、新年交賀会・表彰祝賀会を開催しました。

新春講演会は、午後3時から90分「リノベーションまちづくりについて」“マルカンビル大食堂の復活を例に”と題し、(株)花巻家守舎代表の小友康広氏が講演しました。

人口減少や後継者問題で地方が衰退していく状況にあって、マルカンビル大食堂を復活させた手法を例に、地域を元気にするまちづくりの取り組みを紹介しました。

次に、表彰式では、田村市長、工藤県議会議員、古川市議会議員、金融機関支店長を来賓に迎え、優良従業員48人(11事業所)に勤続年数ごとに全国商工会連合会会長、岩手県商工会連合会会長、八幡平市商工会会長の表彰が行われ、永年の功績を称えました。

続いて、新年交賀会・表彰祝賀会には、田村市長はじめとする来賓、従業員表彰被表彰者、商工会員130人が出席。高橋会長あいさつの後、田村市長、寺本盛岡広域振興局副局長、工藤県議会議員が来賓あいさつを述べました。

祝宴では、被表彰者を慶祝するとともに、戊年にちなみ飛躍の年となるよう参加者全員で願いました。

永年勤続優良従業員表彰被表彰者は次のとおり。敬称略

【永年勤続優良従業員表彰を受けられた方々】

◎全国商工会連合会会長表彰（勤続年数30年以上）

堀内泰（㈱遠忠） 民部田忠幸 本田静子 橋場美佐雄（以上㈱肉の横沢）

◎岩手県商工会連合会会長表彰（勤続年数20年以上）

小野寺里香 山本博栄 本間豊 平野勤 岩崎征紀 美濃部秋男 小泉行男（以上㈱遠忠）

◎八幡平市商工会会長表彰（勤続年数5年から15年以上）

[勤続年数15年以上] 杣澤雅典 伊藤浩幸 藤原淳 坂本崇 工藤光浩（以上㈱高津ダイス製作所） 大森順子（八幡平市産業振興㈱）

千葉りか 工藤勝美 山本慶子 高橋由美子 工藤まり子（以上㈱岩手エッグデリカ） 高橋徳光 高橋信広（以上㈱ナックス）

関正善（㈲関善林業）

[勤続年数10年以上] 中山佳幸 立花由美 宮野佳佑 工藤秋雄 小沢拓也 坂本秀明 澤口昇 沼田隆史 北舘正美 松原雪弘 伊東登 遠藤功（以上㈱遠忠）

須崎光 遠藤拓弥 関山聡美 湯下純子（以上㈱高橋板金）

佐藤郁子 津志田容子 遠藤ひさえ（以上㈱岩手エッグデリカ）

工藤亜祐美（㈲ファーストコートサービス）

荒川悟史 勝又亜佳音（大和リゾート㈱八幡平ロイヤルホテル）

[勤続年数5年以上] 一ノ渡渉（㈱麴屋もとみや）



* * * * *

被表彰者の皆様

おめでとうございます

* * * * *

盛岡法人会西根支部・安代支部合同経済講演会



北海道東川町長
松岡 市郎 氏

1月18日、新安比温泉静流閣にて盛岡法人会西根支部・安代支部合同経済講演会が開催されました。同講演会は、「写真文化首都『写真の町』東川町の活性化策とは」と題して、「写真の町」としてまちおこしに取り組む北海道東川町の松岡市郎町長をお招きし、御講演頂きました。

また、松岡町長を御紹介頂いた、立正大学経済学部特任教授の鈴木輝隆氏に講演会のコーディネーターとして御参加頂きました。

国際写真フェスティバルや「写真甲子園」などの事例を交えながら、恵まれた地域資源を最大限に活用し、新たな付加価値を創出しながら、「写真の町」の知名度を生かしたプライムタウン（最高のまち）づくりに関する取組をご講演頂きました。

税理士による消費税・決算の個別相談日程

下記の日程で消費税・決算の個別相談会を開催致しますので、お気軽にご相談ください。順番は、当日の受付順になります。早めの申告と相談を心がけましょう。

(時間は、10時～16時です。)

期 日	場 所	税 理 士
平成30年2月20日(火)	八幡平市商工会本所	高橋登税理士
平成30年2月28日(水)	田山コミュニティセンター	伊藤保己税理士
平成30年3月 1日(木)	八幡平市商工会本所	伊藤保己税理士
平成30年3月 2日(金)	八幡平市商工会安代支所	伊藤保己税理士
平成30年3月 5日(月)	八幡平市商工会本所	高橋登税理士
平成30年3月 8日(木)	八幡平市商工会本所	伊藤保己税理士
平成30年3月12日(月)	八幡平市商工会本所	工藤重信税理士

松尾支所の一時閉所に伴い、松尾地区の会員の皆様も商工会本所にて個別相談を御利用頂きますようお願い申し上げます。皆様にご不便をおかけしないよう努めますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

八幡平エンジョイ雪合戦開催のお知らせ

期 間 2018年2月10日(土)～11日(日)

場 所 八幡平市平笠 サラダファーム内特設会場

参加申込 八幡平市雪合戦協会(株岩手エッグデリカ内)

電話:0195-75-0288

申込締切:1月30日(火)

本気モード、男女ミックス、キッズの3ステージ

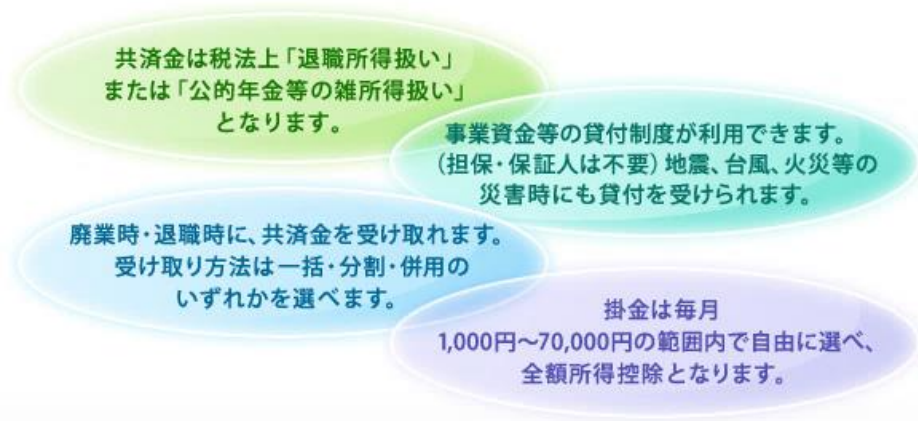
本気モードステージ、男女ミックスステージの優勝チームには5万円分、準優勝には3万円分、3位には2万円分の八幡平市共通商品券が贈呈されます!

※詳細についてはサラダファームのホームページをご覧ください。

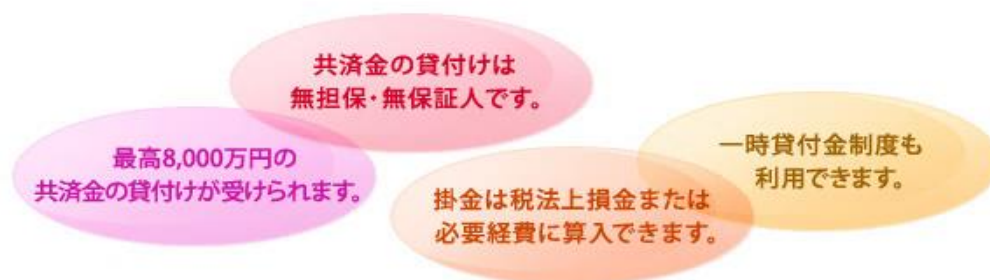
<http://salad-farm.jp/>

商工会の各種共済制度のご案内

1. 小規模企業共済



2. 中小企業倒産防止共済(経営セーフティ共済)



大更駅前商店街再編調査事業に係る懇談会を開催（報告）

～大更駅前の生活魅力の向上を目指した商業地づくりの提案に向けて～

昨年（2019年）の12月21日に商工会館2階で、大更駅前開発に関する調査事業の一環として大更地区商店街関係者、交通事業者、行政、住民代表等による懇談会（18人出席）を開催しました。

今年度の調査事業は夏から秋にかけて大更商店街利用者、大更駅利用者、市立図書館や西根病院、西根総合支所等利用者、子育て家庭等を対象にして、①まちづくりの方向性、②拠点施設整備について、③公共施設の集約整備について、④商店街の賑わいづくりと大更駅前線沿道でのまちづくりについて、の4項目に関するアンケート調査とその集計結果に基づく意見交換を行いましたのでその概要をご紹介します。

●調査結果として（調査協力者：商店街利用者、駅利用者、公共施設利用者、子育て家庭）

①まちづくりの方向性として、お店の業種の充実と子育て支援や子供と安心して過ごせる環境を望む声が上位であった。

②駅前拠点施設については飲食店やコンビニを求める声が全体的に多かった。

③西根総合支所や図書館等の公共施設については、もし移転するのであれば駅の近くや交通に便利な場所という回答が多かった。

④商店街の賑わいについては、既存イベントであるガーデンフェスの認知度が低く、新たに始めた「フーガの休日」に期待を寄せる回答が多かった。

また、新たな街路整備については歩いて楽しく、休憩できる場所を設置するなど歩行者にやさしいまちづくりを求める声が多かった。

●出席者の意見として

・「フーガの休日（新たなイベント）」は若者（子育て世代）をターゲットに開催した。手応えを感じた。満足度も高いということで継続して行っていきたい。

・今後も大更駅が八幡平市の交通の中心となる。

・人が商店街に集まる仕組み作りも同時に進めていかなくてはいけない。人が集まる商店街じゃないと外から事業者を誘致することもできない。

・西根病院が平成32年に移転すれば駅前には人の流れができるので飲食店や商店などが出店するチャンスとなるかもしれない。

・市立図書館は築26年で老朽化し、バイパスができてから立地的に不便な場所となっているので、駅前に移転すれば駅利用の学生や病院利用者や観光客にとっても良いのではないかと。

・図書館は文化施設や子育て施設、役所の窓口と併設された複合施設とするのが望ましい。

・本屋が無いので図書館は必要。中高生のこともターゲットにして考えて欲しい。

・支所機能や図書館（コーヒーなどが飲める飲食店などを併設）などが入る複合施設に期待している。

・子供を預ける場所がなくて困っている。子育て支援施設が駅前にあれば、病院と連携できて良いかもしれない。女性が住み着くような街にしていく必要がある。

・大更駅付近は店が無く、パン屋などちょっとした食べ物が買える場所が欲しい。

・子供が安心して昼間に遊べる場所が増えて欲しい。

●調査事業の方向性とし（提案に向けて）

女性・子供が楽しい街・女性が住み着く街を目指すという方向性が見えてきました。駅前に病院が移転し、図書館や子育て支援施設、支所機能がある複合施設ができれば駅前には年間10万人が集まることが予想され、商店街にとっても商売がしやすくなります。このような人を集める施策は行政に整備をお願いしていきたく思います。また、商業予定地への出店や施設にテナントを入れる場合の賃料など成功事例などを参考に十分に検討すべきだと思います。

商店街としては、大更はアパートや空き店舗もあることから外から定住者を増やしていくべきであり、女性が活躍できる商店街を目指すことも必要だと思います。

◎商工会としては、これからも会報等による情報提供を行うとともに懇談会などを通じて事業者の意見を把握しながら事業を進めてまいりますのでご協力をお願いします。